

令和元年7月25日14時00分
資料配布 近畿地方整備局
国営飛鳥歴史公園事務所
(国土交通本省と同時発表)

国営平城宮跡歴史公園“パークスマートチャレンジ” 「新技術を活用した公園のスマート化に向けた社会実験」 を実施するパートナーが決定しました

国営平城宮跡歴史公園（奈良県奈良市）において実施中の“パークスマートチャレンジ”*で、社会実験を実施するパートナー（民間事業者）を公募（期間：3月1日～5月31日）していましたが、このたび7月18日に開催したコンソーシアムにおいて、パートナーが選定されました。

*パークスマートチャレンジは、スマートシティの取組の一環として、AIやIoTなどの新技術を活用し、公園の抱える課題の抜本的な解決や、公園利用者サービスの創出などによる一層の魅力向上を目指す取組です。

今回の公募では、9事業者から延べ11提案が提出され、コンソーシアムの評価選定委員会において評価・選定した結果、全ての事業者が選定されました。（事業者一覧は別紙参照）

※「平城宮跡歴史公園スマートチャレンジ」HP（国営飛鳥歴史公園事務所 平城分室）
<https://www.kkr.mlit.go.jp/asuka/heijo/psc/>

なお、今後、選定された各事業者との間で、平城宮跡の適切な保存の観点を含め、具体的な実験内容の調整を行い、各事業者が作成する社会実験の実施計画をコンソーシアムで承認（9月予定）した上で、本年秋以降に社会実験を開始する予定です。

添付資料 別紙①「平城宮跡歴史公園スマートチャレンジ」選定事業者一覧
別紙②「平城宮跡歴史公園スマートチャレンジ」公募概要

<取扱い>

<配布場所>

近畿建設記者クラブ
奈良県政・経済記者クラブ
奈良市政記者会

大手前記者クラブ
奈良県文化教育記者クラブ

<問合せ先>

国営飛鳥歴史公園事務所
調査設計課長 古木 治郎
電話番号 0744-54-2662(代)

「平城宮跡歴史公園スマートチャレンジ」選定事業者一覧

	事業者名	提案された応募テーマ（注1～2）						提案された社会実験の概要（注2）
		① （モビリティ）	② （AR等）	③ （アプリ）	④ （クラウド台帳）	⑤ （その他）	⑥ （データプラットフォーム）	
1	NTTコムウェア株式会社					○		モビリティ（自動運転）やドローン等で取得される画像データ活用したAI画像解析によるインフラメンテナンス
2	株式会社NTTドコモ	○						自動運転車・パーソナルモビリティ・シェアバイクを複合的に活用したモビリティサービス
3	国際航業株式会社				○			クラウド等を活用した公園施設管理台帳システム
4	株式会社ジャパン・インフラ・ウェイマーカー		○※1		○※2	○※2		AR技術を活用した歴史体験・解説サービス（※1）、ドローン等を活用した公園施設のインフラメンテナンス（※2）
5	凸版印刷株式会社		○※3	○※4				VR技術やモビリティ（自動運転）を活用した歴史体験・解説サービス（※3）、ポータルアプリやデジタルサイネージを活用した情報受発信（※4）
6	西日本電信電話株式会社						○	各実験で取得されるデータを収集・統合・分析等するデータプラットフォーム
7	日本電気株式会社・NECソリューションイノベータ株式会社		○※5	○※5		○※5		AR技術を活用した歴史体験サービス（テーマ②）、ユーザー情報と公園施設が連動した公園ガイド用アプリケーション（テーマ③）、カメラで得られる画像等を活用したAI人流解析（テーマ⑤）
8	PerceptIn Limited	○						自動運転車を活用したモビリティサービス等
9	ブルーイノベーション株式会社					○		ドローンのプログラミング教室を活用したドローン技術に係る人材育成

注1) 複数テーマを提案している事業者のうち、「※(番号)」が記載されているものについては、番号毎に一つの提案が出されています。（例えば、「※2」については、テーマ④及びテーマ⑤を複合した提案となっています。）

注2) 実際に社会実験を行うテーマ及び実施内容・時期については、平城宮跡の適切な保存の観点を含め、今後各事業者と調整を行った上で、コンソーシアムでの承認を経て決定します。

平城宮跡歴史公園スマートチャレンジ

—新技術を活用した公園のスマート化に向けた社会実験—

公募概要

平城宮跡歴史公園の抱える現状・課題

- ▶ 平城宮跡歴史公園は、特別史跡・世界遺産「平城宮跡」を国営公園として保存活用を図っている。
- ▶ 平成30年3月に利用拠点となるエリアがオープンし、年間約140万人程度の来園が見込まれる一方、広大な園内での移動の円滑化や、復原整備以外の手法による更なる歴史体験の充実等が今後の課題。

解決方針

従来より取組んでいる特別史跡・世界遺産「平城宮跡」の保存へ支障を及ぼさないことを前提として、産学官コンソーシアムのもと、民間提案型スマート技術を活用して、公園マネジメントを抜本的に改善

① 民間提案型スマート技術の公募（3月1日～5月31日）

- 国営公園の抱える課題テーマ及び解決の方向性を設定し、それに対する民間企業等からの提案を公募。



② 民間事業者の選定（7月18日）

- コンソーシアムにおいて、園内で社会実験を行う民間事業者等を選定。



③ 民間事業者による社会実験の実施（秋以降）

- 選定された民間事業者が、園内において実用化に向けた社会実験を実施。
- コンソーシアムにおいて実験結果を分析・検証を行い、民間事業者へフィードバック。



④ スマート技術の実用化の検討・実施（2020年以降順次）

- 実験結果を踏まえ、民間事業者の独立採算ベースでの実用化を検討。
- 実用化されたものは、国営公園の管理委託業務と連携した運営へと移行。

- ① 民間提案型スマート技術の展開に向けた協議・調整のプラットフォームとして、学識者や周辺自治体を含めた「平城宮跡歴史公園スマートチャレンジコンソーシアム」を設置。

平城宮跡歴史公園スマートチャレンジコンソーシアム

有識者

国営公園事務所（事務局）

国営公園・県営公園 関係者

文化庁、奈良文化財研究所

周辺自治体（奈良県・奈良市関係部局）

⑤ 社会実験の実施（秋以降）

 選定された
民間事業者

 ⑥ ・結果の分析検証
 ・実験への
 フィードバック
 ・実験間での
 データ共有

② 公募（3月1日）



③ 提案（～5月31日）



④ 選定※（7月18日）


 スマート技術
 を有する
 民間事業者

（コンソーシアムへ参画）

※選定は別途設置する評価選定委員会で行う。

→参画後は、社会実験の進捗・結果を報告

- ⑦ 実験結果を踏まえ、民間事業者の独立採算による実用化を検討し、実用化。（実用化されたものは、国営公園の管理委託業務等と連携した運営へと移行。）

2019

2020以降

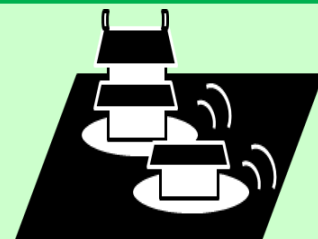
① 新たなモビリティサービス

自動運転等による次世代型モビリティを活用して、安全かつ効率的な園内移動を実現。



② AR技術を活用した歴史体験サービス

最新のAR・MR技術等を活用して、公園の有する文化財等に関する歴史体験サービスを多言語で提供。



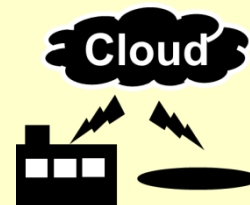
③ アプリケーションによる公園情報の受発信サービス

携帯向けアプリを活用して、園内の利用情報やイベント情報等を、多言語で送受信できるシステムを構築。



④ クラウドによる施設管理の効率化

施設管理の効率化・迅速化を図るため、クラウドシステムを活用した公園台帳システムを構築。



⑤ その他

公園の利用や維持管理・メンテナンスの飛躍的な向上に資するもの（例：ドローン、AIカメラ、デジタルサイネージ 等）

⑥ データプラットフォーム

①～⑤で取得される各種ユーザーデータの収集の仕組み及び当該データの統合・分析・共有のためのプラットフォーム

社会実験におけるデータ収集・活用イメージ

